

議員提出第十一号議案

二〇三五年ラグビーワールドカップ日本再招致及び大分県開催実現に関する決議

二〇一九年に我が国で開催されたラグビーワールドカップは、日本中を熱狂の渦に巻き込み、多くの人々に夢と感動を与えた。この大会では本県も試合会場となり、スポーツ振興や地域活性化のみならず、世界に向けた「おんせん県おおいた」の魅力発信、更には有形無形のレガシーの創出など、本県にとって極めて大きな財産となっている。

現在、国内では、二〇二七年オーストラリア大会、二〇三一年アメリカ大会に次いで開催される予定である、二〇三五年男子ラグビーワールドカップの日本再招致を目指す機運が高まっている。

本県には、これまで数々の大規模な国際スポーツイベントを成功に導いた確かな運営実績があり、また、世界基準を満たすスタジアム環境が整っている。そして、国内外の観客を温かく迎える「おもてなしの心」が息づいている。

この大分の地へ、再びラグビーワールドカップを招致することは、地域経済の持続的な発展や観光産業の更なる飛躍のみならず、スポーツを通じた青少年の健全育成や共生社会の実現にも大きく寄与するものである。

よって、本議会は、二〇三五年ラグビーワールドカップの日本への再招致と大分県開催を実現するため、「ノーサイドスピリット」の精神で、日本ラグビーフットボール協会をはじめとする関係機関と緊密に連携し格段の努力をするとともに、同大会の日本開催、そして、本県での開催が決定されるよう強く要望する。

右、決議する。

令和八年九月二十四日

大分県議会